

## - 報道資料 -

～東三河のバス・電車の今いる場所が見えるようになります～  
「のってみりん+(プラス)」のサービス開始と、  
東三河 MaaS 「いこまい」との連携開始について



豊橋鉄道株式会社（取締役社長 岩ヶ谷光晴/豊橋市駅前大通一丁目46番地の1）、豊鉄バス株式会社（取締役社長：岩ヶ谷光晴/豊橋市植田町字新津田38番地）および東三河地域公共交通活性化協議会（豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村）は、このたび、東三河地域の公共交通利便性向上のため、2026年1月8日より既存の路線バス位置情報サービス「豊鉄バスナビ」の対象路線を拡充し、サービス終了した豊橋市システム「のってみりん※」の理念を継承した新システム「のってみりん+(プラス)」アプリとしてサービスを開始します。またサービス開始に伴い、東三河の移動をサポートする東三河MaaS「いこまい」との情報連携も実施します。

本サービスは国土交通省の令和7年度「日本版MaaS推進・支援事業」の一環であり、バスや電車が今どこにいるかという運行状況（車両の所在地）をリアルタイムで画面に表示することで、利用者に対し、より快適で途切れのない（シームレスな）移動サービスを提供します。

詳細は下記のとおりです。

※「のってみりん」は、2025年9月30日に終了した、豊橋市が提供していた市内を走る路面電車とコミュニティバスに乗せたGPSの情報を使って、車両が今どこを走っているかWEBで確認できるシステムです。

## 記

1. 名 称 のってみりん+(プラス)

2. サービス開始日 2026年1月8日(木)

3. 提供主体 豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、東三河公共交通活性化協議会（豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村）

## 4. 導入目的

本サービス導入の最大の目的は、東三河地域における公共交通を「使うのは大変そう」というイメージや、実際に利用する上での障壁（心理的・物理的ハードル）を引き下げるにあります。

### (1) 移動の不安解消

渥美線・市内線・豊橋市コミュニティバスにおいて、これまで利用者が抱えていた「乗りたい車両が今どこにいるのか分からない」という不安を解消し、移動の確実性を高めます。

### (2) 公共交通利用の促進

運行状況の可視化により、今まで以上に利用者が安心して公共交通を選択できるようになり、公共交通利用を促進します。

### (3) 移動の選択肢の増加

移動手段確保の観点からも、「公共交通でそこにいけるかどうか」をスムーズに知らせることで、移動の選択肢を増やし、豊かな生活に貢献します。

## 5. サービス概要

本サービスは、車両の位置情報サービスを広げることと東三河 MaaS 「いこまい」（ウェブアプリ）との連携により、東三河地域における広域的なお出掛けの支援を行うものです。



バス・電車の現在位置や運行状況をリアルタイムに把握し、利用者に提供するシステムです。



走行位置  
リアルタイム表示  
車両の種類や  
路線指定での検索



東三河における複数の公共交通や、それ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索等を一括で行うサービスです。



経路検索  
乗車券の  
購入と利用  
旬な情報  
・  
地域情報

### (1) 「のってみりん+(プラス)」による公共交通の位置情報の拡充

既存のバスの位置情報サービス「豊鉄バス Navi」の対象交通モード路線を拡充し、名称を「のってみりん+(プラス)」として提供します。これにより、鉄道（渥美線・市内線）を含む広範囲の今いる場所の情報が提供可能となり、利用者の待ち時間削減や効率的な移動計画をサポートします。

交通モード	対象路線
路線バス	豊鉄バス（全路線） ※一部受託運行路線含む
鉄道 <u>※新規拡充</u>	豊橋鉄道 湿美線
軌道 <u>※新規拡充</u>	豊橋鉄道 東田本線（市内線/路面電車）
コミュニティバス <u>※新規拡充</u>	豊橋市コミュニティバス（愛のりくんを除く）

## （2）東三河 MaaS 「いこまい」との連携

「のってみりん+(プラス)」で取得されたリアルタイム位置情報は、東三河の移動をサポートする東三河 MaaS「いこまい」のルート検索結果画面にリンク表示され確認できるようになります。

### ①途切れのない情報連携

ルート検索とリアルタイム位置情報の連携により、乗り換えや行動計画の作成が容易になり、利便性が大幅に向上します。

### ②既存サービスとの相乗効果

「いこまい」の乗車券（デジタルチケット）や地域情報（お出掛け情報）に正確な移動情報が加わることで、公共交通を利用した周遊行動への信頼性が高まります。

## 6. 利用方法

※サービス開始は 2026 年 1 月 8 日からです。

### ・「のってみりん+(プラス)」

□WEB 版 <https://bus-viewer.jp/toyotetsu/view/searchStop.html>

□アプリ版

アプリ版のご利用開始日は未定です。確定次第豊橋鉄道ホームページでお知らせします。

### ・東三河 MaaS 「いこまい」(WEB アプリ)

URL: <https://maas.meitetsu.co.jp/ikomai/>

※アプリをダウンロードする必要はありません



\*QR コードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。

## 7. お問い合わせ 豊橋鉄道株式会社 総合企画部 0532-53-2134(平日 9:00~17:00)

以上

## 別紙

### 1. 導入効果について

#### (1) 利用者の時間対効果（タイムパフォーマンス）と利便性の向上

リアルタイム位置情報が提供されることで、利用者は駅やバス停での無駄な待ち時間を最小限に抑え、出発時間まで観光やショッピング等、時間を有効活用できるようになります。

また、バス・渥美線・路面電車といった異なる移動手段間の乗り継ぎ計画が容易になります。

#### (2) 地域活性化と持続可能な交通の実現

東三河の移動をサポートするウェブアプリ「いこまい」が持つ広域のルート検索機能やスマートフォンなどで買えるお得な乗車券（デジタルチケット）機能と、正確なリアルタイム情報を連携させることで、観光客は効率的かつ快適に周遊できるようになり、観光誘客と利便性の向上を実現します。

### 2. サービス名称変更と広域連携の背景

サービス名称を「豊鉄バス Navi」から「のってみりん+(プラス)」へと変更したのは、豊鉄バスだけの情報提供に留まらず、豊橋市域内の主要な公共交通（鉄道・バス・コミュニティバス）を網羅する広い地域での移動を助けるサービスへの転換を目的としたためです。

特に、豊橋市で親しまれていた公共交通の走行位置情報システム「のってみりん」（2025年9月30日サービス終了）のコンセプトを継承し、その名称に多モード化と広域連携を表す「+（プラス）」を付加することで、地域の「公共交通に乗ってみりん（乗ってみよう）」という理念と広域MaaSへの機能をあわせて取り組みます。本事業は、東三河地域公共交通活性化協議会を構成する東三河8市町村が連名で取り組んでおり、本サービスは広域行政が一体となり、途切れのない移動の実現を目指す戦略的なインフラです。

### 3. エンドコンテンツ連携の強化と情報の鮮度維持（CMS構築）

東三河MaaS「いこまい」は、交通情報に加え、地域の旬なイベント情報や生活情報を統合的に提供しています。情報が欲しい人へ適切に届くよう、この秋より東三河8市町村や観光協会が情報を管理・更新するためのシステムを通して、イベント情報などを直接、自らアップロード・更新できる仕組みを構築しました。これにより、常に情報の鮮度と信頼性を確保し、地域内の移動の促進につなげていきます。

### 4. データ駆動型施策の推進

本事業は、将来の持続可能な公共交通網の構築に向け、利用データに基づいた交通サービスの改善（データ駆動型施策）も目的としています。東三河MaaS「いこまい」の利用データと、豊鉄バス、渥美線、市内線のICカードの「どこで乗ってどこで降りたか」という利用の記録（ICカード利用実績データ）を掛け合わせて分析できる環境を構築し、従来の経験に基づく施策から、「利用実績に基づいた効果的な交通再編」へと転換する基盤を確立します。